

国民民主 こくみんみんしゅ
Press
KOKUMIN MINSHU PRESS
国民民主党 国民民主プレス 編集部
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-3 Nagatacho GRID 4F
TEL : 03-3593-6229 MAIL : info@new-kokumin.jp H P : new-kokumin.jp
号外
2024年2月

【連絡先】国民民主党茨城県第5区総支部(浅野さとし事務所)

国会事務所

〒100-8981
東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館406号室
TEL : 03-3508-7231
FAX : 03-3508-3231

日立事務所

〒317-0071
茨城県日立市鹿島町1-11-13
TEL : 0294-21-5522
FAX : 0294-21-3014

公式サイト

<https://asanosatoshi.com/>



2024年新春特別企画として、本年も大部勝規 高萩市長との特別対談を実施させていただきました。対談では、物価高騰対策、子ども・子育て世代への支援、災害対応等に取組んだ2023年を振り返り、今後のまちづくりの展望についての思いを語っていただきました。

2023年の振り返り

高北清掃センターが本格稼働 広域ごみ処理施設整備が実現

浅野衆議院議員 (以下、浅野) 昨年も国内外では様々な出来事や政界の動きがありました。一年を通じて、大部市長の印象に残っている出来事や、特に注力した施策、手応えのあった取組み等があればご紹介いただけますか。

大部高萩市長 (以下、大部) 新型コロナウイルスが5類感染症になり経済活動は正常化してきましたが、国際情勢に

起因するエネルギーや原材料価格の高騰に伴う物価高、台風13号の影響による豪雨災害など、私たちの日常生活や企業の経済活動に様々な影響があった一年でありました。

そのような一方で、昨年4月には新しいごみ処理施設である高北清掃センターが本格稼働となりました。本市は県内で唯一ごみ処理施設を持たない自治体でしたが、国の循環型社会形成推進交付金の活用によって北茨城市との広域ごみ処理施設整備が実現しました。

新施設では、廃棄物を焼却する際の熱を利用して発電を行ない、その電力を施設で利用し、余剰分の電力を売電するなど、環境負荷の軽減を図るシステムを導入しております。また、北茨城市との共同運営により本市の財政負担の軽減を図れることから、その分を市民の皆様へ還



元するため、ごみ袋の価格を下げることができました。

浅野 私が印象的だったのは、昨年開催された高萩市産業祭です。高萩市役所から市民体育館まで実に多くの人で賑わう光景は、コロナ禍がようやく過ぎ去ったことを実感させてくれました。今年は昨年以上に多くのイベント等で高萩市内が賑わう一年であってほしいと思います。

物価高騰対策について

市民生活への影響を見極め 必要な支援策を考えていく

浅野 昨年来、食料品や日用品が値上げされ、更に、電気代高騰の傾向は、政府の緩和措置などがあったものの、2024年以降も継続する見込みです。

昨年、高萩市として市民生活や地域経済を支えるために行なった施策や本年新たに取組もうと考えている事について教えてください。

大部 本市においては、物価高騰対策として市民全体への生活支援のほか、本市経済を支える事業者への支援を実施してきました。具体的には、市民生活への支援として、低所得者世帯や子育て世帯に対する給付金、高齢者に対するギフト券の配布を実施してきました。また、事業者への支援としては、農業者や交通事業者、医療機関への給付金の支給などを実施してまいりました。これらの支援事業

の財源は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金のほか一般財源を充てて対応してきたところであります。

今後についても、原油価格や物価高騰などの影響が先行き不透明の状況でありますので、市民生活への影響をしっかりと見極めながら、必要な支援策を考えてまいりたいと思います。

しかしながら、物価高騰対策は、全国にわたる課題ですので、浅野代議士にも国において、議論を重ねながら、効果的な対策を考えていただきたいと思います。

浅野 物価上昇に対処する方法は大きく四つあります。一つは、現在のガソリン価格の激変緩和措置の様に国が補助金を出し価格を強制的に下げする方法。二つ目は減税。三つ目は賃上げ。四つ目は生産性向上によるコスト圧縮です。現在、私は、トリガー条項の凍結解除をはじめとするガソリン減税に取り組んでいますが、これから始まる春闘の中では昨年を上回る賃上げが期待されていますし、更に、中小企業の設備投資や研究投資に対する優遇策を拡充させていけるよう力を尽くしたいと思います。

こども・子育て世代への支援について

周産期医療体制の整備を 政府へ強く要望していく

浅野 政府は昨年こども未来戦略方針を策定し、就学前教育や保育、地域の子育て支援策の質の向上を進めていくために取組みを進めています。

茨城県北地域における少子化の現状をふまえると、今後更に踏み込んだ支援を行なう必要もあるのではないかと思います。

高萩市では「萩っこつどいの広場」や子育て支援ホームページ「はぎハピ」などを開設されていますが、今後の高萩市のこども・子育て政策に関する大部市長のお考えをお聞かせください。

大部 少子化や人口減少が続いている中で、少子化対策は強い決意をもって不退転の覚悟で取り組んでいきたいと考えています。

私が進めている子育て支援策としては、まずは周産期医療体制の確保を図ることとし、県北医療センター高萩協同病院に対しての、「公的病院産科・救急医療体制支援補助金」の交付や、産科医確保のため、県内の産科医派遣の中心的な役割を担う筑波大学に対し強い働きかけを行なうことで、市内で出産ができる体制を整えております。子どもを産み育てるためには、産科医療体制を維持する

ことが不可欠です。

また、昨年度から開始した医師定住促進事業補助金により、小児科医の常勤医師1名を新たに確保することができました。開業医も含めると、市内2か所での診療体制となり、小児が受診しやすい環境を整えることができました。今後も全力で地域医療向上に取り組んでいく所存です。

他にも、地域保育の拠点として開設した、「たかはぎ認定こども園」では、体調不良児対応型の病児保育を実施し、保護者の子育てと就労の両立を支援する取り組みなどを行っており、住み慣れたまちで安心して産み育てられる環境の維持を重点施策として進めているところです。

また、昨年の7月5日には、公益社団法人日本青年会議所が推進する「ベビーファースト運動」の趣旨に賛同し、「安心して産み育てられるまち たかはぎ」という活動宣言のもと、子どもを産み育てなくなる地域を実現するため、子育て世代に対する取り組みを展開することを、あらためて宣言いたしました。

少子化対策は、一自治体の取り組みだけでは限界があります。特に本市は周産期医療や地域医療体制の充実を図るため、高萩協同病院への支援として1億4千万円程度を毎年一般財源で負担しております。浅野代議士には、周産期医療体制整備に対する支援制度の創設など政府へ強く要望していただきたいと思っております。

浅野 私も同じことを考えています。子を安全に出産できる環境や健康に生きていくための医療環境は、本来自治体ではなく国の責任のもとで全国どこであっても十分に整備されるべきだと考えています。最近では、高額な医療装置を各病院が自力で購入・維持管理をすることが難しくなってきたとも聞いていますので、高額な医療装置等については、国が購入したり、優遇税制を拡充するなど、更なる環境改善にむけて引続き国会でも話し合っていきたいと思っております。

高萩市の災害対策について

豪雨災害が発生する前提で 地域の防災・減災対策を実施

浅野 昨年9月8日、茨城県内で初めて確認された線状降水帯により、高萩市では河川の氾濫や多数の民家への浸水など甚大な被害が発生しました。国や県の支援もあり、その後の復旧作業は順調に進んでいますが、今回の災害を教訓として今後の高萩市の災害対策内容に補強箇所はありますか。



大部 台風13号では線状降水帯の発生により、今まで経験した事が無い猛烈な雨が降り、河川水位が急激に上昇し、関根川水系の河川が氾濫しました。道路の冠水や住宅への浸水、土砂崩れなど、甚大な被害を受けました。

本市では、発災後すぐに、被災状況の調査や罹災証明書の発行、被災した住宅の応急修理、災害ゴミの回収等、職員が丸丸となって取り組み、生活再建に向けた迅速な対応をしました。そのほか、災害ボランティアセンターも早期に立ち上げ、全国各地から延べ2,041人のご支援をいただきました。被災した市民が非常につらい思いをした中でも、少しでも前向きに、日常生活を一日でも早く取り戻すために頑張る気持ちになれるようなお手伝いのできたのではないのかな、とっているところです。

今回の甚大な被害を経験し、市民の生命財産を守る上では、防災・減災対策は非常に重要で、ソフト面とハード面を適切に組み合わせながら対策を進めていくとともに、「自助」「共助」「公助」の役割に基づき、市民、地域、企業、行政及び防災関係機関等が一体となって対応し、地域の防災力を高めることが大変重要だと感じたところで

す。ソフト面の対策としては、日頃の防災訓練や、防災意識向上のための防災出前講座などにおいて、市民に「自助」、「共助」の重要性について呼びかけを実施するとともに、地域の災害リスクや災害時に取るべき行動について、ハザードマップの活用や茨城県の推奨するマイ・タイムラインを作成することなど、引続き理解促進を図っていきたく考えています。

また、ハード面の対策としては、市が管理する河川のうち、改修が完了している準用河川については、今後も浚渫

を軸とした維持管理を行なっていきます。改修を一時休止していた準用河川玉川の改修事業はJRや国道6号を横断するため、莫大な予算と年数がかかります。市民の安全安心を確保するためには、この準用河川の早急な改修が不可欠であるため、国土強靱化計画に基づいて事業を進める予定ではありますが、どうしても投資的経費に充てられる一般財源に限られております。防災・減災対策事業は、財政力が低い本市には、財政負担がどうしても重くのしかかります。浅野代議士には、財政力に応じた国庫補助の増額や地方債の交付税措置等の支援、更には国土強靱化のための5か年加速化対策を令和8年以降も継続するよう政府へ働きかけていただきたいと思います。

浅野 私が地域の皆様にもお伝えし続けているのは、年々大規模化する豪雨災害の傾向を考えれば、昨年のような豪雨災害が本年以降も発生する可能性は十分に考えられるという事です。むしろ、本年もあの規模の豪雨が発生するという前提で地域の防災・減災対策を実施していかなければ本当の危機管理とは言えないと考えています。更に、元日に発生した能登半島地震による甚大な被害の状況を考えても、国の国土強靱化予算の効果的な執行はもちろん、更なる拡充についても今年の国会では議論することになると思います。

2024年の見通し

市民が豊かさを実感できる 持続可能な地域づくりを進める

浅野 最後に、2024年の高萩市の見通しや、大部市長ご自身の2024年の抱負についてお聞かせください。

大部 これまで広域ごみ処理施設整備をはじめ、赤浜地区工業団地への企業誘致、公立認定こども園の設立、My Rideのるやデマンドタクシー等の公共交通網再構築、アウトドアのまち高萩とした観光資源の利活用、新型コロナウイルス感染症対策、物価高騰対策など、市職員はもちろん、関係機関や市民の皆様とともに喫緊の課題に全力で取り組んでまいりました。昨年この対談で申し上げましたが、これまでの改革や課題解決により、高萩市は着実に前進していると実感しております。

今年も、本市がめざす都市将来像「地域力が笑顔を育むまち高萩」の実現に向けて、市民が豊かさを実感できる持続可能な地域づくりを、進めてまいりたいと考えております。

浅野代議士には、これからも国政の現場から高萩市へのご理解とお力添えをよろしくお願いいたします。

浅野 茨城県でも幸福度指数という指標を取り入れながら、県民が幸せや豊かさを実感できる環境づくりに取り組んでいると聞いています。大部市長も市民の幸せの指標を高めるため、本年も引き続きのご尽力をよろしく願い申し上げます。本日は様々なお話を聞かせていただきありがとうございました。

浅野さとし

プロフィール

《略歴》

1982年9月生まれ
 2005年3月 青山学院大学理工学部卒
 2007年3月 青山学院大学大学院
 理工学部研究科修了(理学修士)
 2007年4月 株式会社日立製作所 日立研究所入社
 2013年8月 日立製作所労働組合研究所支部執行委員
 2015年9月 衆議院議員大畠章宏秘書
 2017年10月 衆議院議員初当選(第48回衆議院選挙)
 2021年10月 衆議院議員2期目当選(第49回衆議院選挙)



各種SNSで

浅野さとしの最新情報発信中!!



<LINE>

地域の情報や
 話題のニュース
 についてわかり
 やすく解説する
 「浅野さとし
 公式チャンネル」
 はコチラから!



<Twitter>



<YouTube>

要チェック!!

Facebook・Instagramもチェック!

日立事務所

〒317-0071 茨城県日立市鹿島町 1-11-13
 友愛ビル1階
 TEL 0294-21-5522
 FAX 0294-21-3014
 Mail: asano@asano-office.net

ご意見・ご要望

国会事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1
 衆議院第一議員会館 406号室
 TEL 03-3508-7231
 FAX 03-3508-3231
 Mail: g17398@shugiin.go.jp